

# CLOUDVISORY:

## クラウドの可視化、コンプライアンス、ガバナンス

複雑なクラウド環境の管理は、多くの企業や組織にとって、もはや避けて通れないものになっています。クラウド・プラットフォーム利用の加速は、クラウド・セキュリティ強化のペースを上回るほどになっています。

FireEye Cloudvisoryは、複雑なクラウドのセキュリティ管理をシンプルにするための、継続的な可視化、コンプライアンス、そしてガバナンスを提供するクラウド・セキュリティ・ソリューション。クラウドに対し、クラウド・ネイティブな統合と制御を実現します。Cloudvisoryは最近問題となっているクラウド・セキュリティにまつわる問題点に対応しています。



### 35%\*の組織が、プライバシー情報や機密情報の保護はクラウド・プロバイダーに責任があると思い込んでいる

クラウド・プロバイダーは、さまざまなビルトインのセキュリティ機能を提供していますが、強固なセキュリティを実現するためには十分とは言えません。クラウド上のデータに対するセキュリティ的責任は、クライアント組織にあります。Cloudvisoryは、クラウド・プロバイダーでは見つけられない重要な項目を明らかにします。また、複数のクラウドからデータを集約し、セキュリティ・チームが何をすべきかを示します。



### 70%\*のセキュリティ・チームが、組織内のオンプレミス・ネットワークよりもクラウド環境の方が、プライバシーやデータ保護規制の管理が複雑だと回答している

Cloudvisoryはクラウド・ネイティブにクラウド・ガバナンスを実現する包括的ソリューションです。CIS、GDPR、HIPAA、NIST、PCI、OpenStack Security Checklistなどのセキュリティ基準やフレームワークに基づくベスト・プラクティスを適用して、セキュリティ・チームの責任範囲を明確にします。



### 56%\*の組織が、クラウド利用はコンプライアンス・リスクを増加すると回答している

Cloudvisoryは、マルチアカウント、マルチクラウド、マルチOSの各環境に対して、継続的にコンプライアンスを保証します。チェックリストを任意に設定でき、アセットやコントロール、イベント上での違反を自動的に検知します。Cloudvisoryは1,300以上のビルトインのコンプライアンス・チェックを提供しており、今後も追加予定です。これらはカスタマイズして利用することも可能です。



### 企業データの48%\*がクラウド上にあるにもかかわらず、クラウドベースの機密情報保護に対する責任を定義している組織はわずか50%\*にすぎない

Cloudvisoryはさまざまなモデルを活用して、すべてのネットワーク設定を自動的に解析し、推奨される改善策を具体的に提示します。セキュリティに変更が必要な場合、その変更がリスクを生じないということが明確になるまで、Cloudvisoryのセキュリティ・テレメトリーを使用した変更点に対する自動的テストを実行することができます。



### 企業は平均29\*のクラウド・アプリケーションを使用しており、そのことによってセキュリティの複雑さが増している

Cloudvisoryは、Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、Google Cloud Platform (GCP) など、クラウドやOSベンダーに幅広く対応しています。インストールが簡単なCloudvisoryは、既存のセキュリティ・ツールとの統合も容易なため、チームがクラウド環境内のアクティビティを明確に把握することができます。



### 米国内組織の55%\*が、クラウド上のアプリケーション、プラットフォーム、インフラ・サービスの利用の可視化ができていると確信している

Cloudvisoryダッシュボードは、接続されているすべてのインフラのセキュリティの、包括的な可視化を提供します。アセット・ディスカバリーを自動的かつ継続的に実施することで、Cloudvisoryは各プロバイダー上の複数アカウントに渡るアセットのインベントリ情報を、リアルタイムに維持することができます。また、各ワークロードと見つかったリスクのマッピングを提供します。

## FIREEYE CLOUDVISORY

複合的な構成を持つマルチクラウド環境の管理は多くの企業にとって現実的課題となっています。マルチクラウド環境の監視と管理を集中管理ソリューションに統合することで、ガバナンス、コンプライアンス、そして可視化といった、現在直面している問題を、より適切にコントロール可能になります。

FireEye Cloudvisoryは、あらゆるクラウド環境に可視性、コンプライアンス、ガバナンスを提供する、クラウド・セキュリティ管理用のコントロール・センターです。アセット・ディスカバリーやコンプライアンス・チェックなどのクラウド・ネイティブなサービスの提供により、複合的なマルチクラウド環境に対しても、脅威検知および対応のエンドツーエンドの自動化を実現します。

Cloudvisoryは、すべてのマルチクラウドとマルチOS環境に対する最適なカバレッジを提供するだけでなく、効率性とセキュリティを継続的に改善し、将来性があり、かつ即座に投資対効果を実感できるセキュリティ・ソリューションです。

Cloudvisoryの詳細については、[www.fireeye.jp/solutions/cloudvisory](http://www.fireeye.jp/solutions/cloudvisory)をご覧ください。

\*Ponemon Institute (2019). Protecting Data in The Cloud. 2019 Thales Cloud Security Study. Global Edition.